

NTT-ME

セキュリティの問題を未然に防ぐプロ集団が「外部侵入検査」「Webコンテンツ検査」で企業を救う

セキュリティ対策の第一歩は検査から ～セキュリティホールを専門家の 目で診断

NTT-MEは「One Stop ICT Partner」というキャッチフレーズを掲げ、お客様にいちばん近い立場に立って、インフラストラクチャーからソリューションまでワンストップで提供している。

NTT東日本の情報通信網を支えるエンジニアリング会社として、主に高速通信ネットワークの構築やメンテナンスを実施しており、多くの実務経験からIPネットワークにおけるセキュリティ対策のノウハウを数多く備えている。中でもセキュリティ分野では、このノウハウを最大限に活かし、コンサル・診断～システム構築・保守運用、研修までを、実践で培った「現場力」と、お客様の立場に立った「コンサルティング」で、最適なサービスをワンストップで提供している。さらには今年度から、社内のセキュリティ関連部門を統合し、さらなるパワーアップを図っている。

本稿では、NTT-MEが提供するセキュリティソリューションの中で現在最も注力しているセキュリティ診断メニューの「外部侵入検査」「Webコンテンツ検査」について紹介する。



NTT-ME ソリューションエンジニアリング事業部 セキュリティソリューション部門
(左から) 担当課長小山 正広氏 大湊 健一郎氏 鈴木 徹氏 大嶋 真一氏

サーバ内の問題点を抽出し解決策を提案する「外部侵入検査」

企業のネットワークサーバには、管理者も自覚していなかったセキュリティの問題が潜在しているというケースが少なくない。問題を放置しておけば、悪意を持った者の恰好の標的となる。悪意ある者はサーバに侵入し、情報を盗み、バックドアの設置やログの消去など、さらなる大きな攻撃をするための仕掛けをしてサーバの乗っ取りを行うので、企業経営に多大な影響を与え、顧客や関連企業にまで迷惑行為を及ぼす恐れがある。

そこでNTT-MEは、経験豊富な専門のセキュリティチームにより、企業内のネットワークサーバのセキュリティの脆弱性を分析し、外部からの脅威に対する解決策を提案する「外部侵入検査ソリューション」を提

供している。以下に検査の一例を紹介する(図1参照)。

①ポートスキャン検査

外部から不正利用される恐れのあるサービスを、サーバ上で提供していないか検査する。

②バージョンチェック

サーバ内に、セキュリティ上の欠陥を持った、旧バージョンのソフトを使用していないか検査する。

③メール不正中継検査

侵入者の悪意の操作により、特定サーバから不特定多数のメールアドレスに向けて勝手にスパムメールを

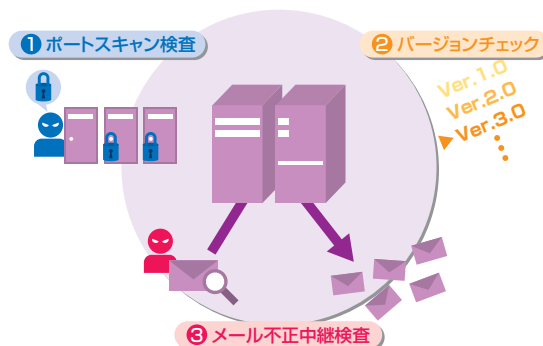


図1 外部侵入検査

送信されるような、潜在的な脆弱性がないかどうかを検査する。

他にも「セキュリティホール情報検査」や「アプリケーションチェック調査」などを用意している。

未知の脅威にも対応できる 「Webコンテンツ検査」

企業が運営するWebサーバは、インターネット上で24時間365日、世界中に向けてサービスを公開している。近年、これらのサーバを狙って、データの改ざんや情報漏洩を引き起こす事件・事故が増えている。攻撃パターンも以前より巧妙化しつつあり、ウイルスや悪意のあるコードといった新しい脅威が出現するようになってきた。

また、ファイアウォールを設置して十分なセキュリティ対策を実行したつもりでも、サーバ内に思わぬ「落とし穴」が存在しているケースも少なくない。

これらの対策として、ネットワーク環境に応じ、Webコンテンツの不備を検査する「Webコンテンツ検査ソリューション」を提供している。以下、検査の一例を紹介する(図2参照)。

①クロスサイトスクリプティング

近年、「ユーザーの個人情報を盗み取る命令」のような悪意あるコードを送信し、そのページを閲覧したり不特定多数のユーザーにスクリプトとして実行する「クロスサイトスクリプティング」が急増している。

そこで、企業Webサイトのアンケートや会員登録などのページに任意の

データを送信し、その応答内容をチェックする検査を行う。これにより悪意のあるスクリプトが遠隔から実行可能な状態かを判定するので、パスワード情報の漏洩やフィッシング詐欺などの対策に役立てることができる。

②SQLインジェクション検査

SQLインジェクションとは、Webサイト上から、データベースへの問い合わせや操作を行なうプログラムに、悪意あるSQL文を混ぜて実行することにより、データベースを改ざんしたり不正に情報を入手したりする攻撃である。

これを防ぐためには、外部からのSQLの偽造が可能かどうかを検査する必要がある。データベースを利用している場合には、データベース用の任意のデータを送信し、その応答内容をチェックし、外部からデータベースが不正操作されるような事態を防止する。

③強制ブラウズ検査

外部から閲覧可能なファイル等が、不用意に存在しないかどうかの検査を行う。一般的に利用されやすいファイル名などのリクエストを送信し、その応答内容をチェックする。

他にも、エラーとなりうるデータを送信し、その応答内容をチェックする。「エラーコードチェック」や、意図しないファイルリストが表示されないかチェックする「ディレクトリリステイング検査」などがある。

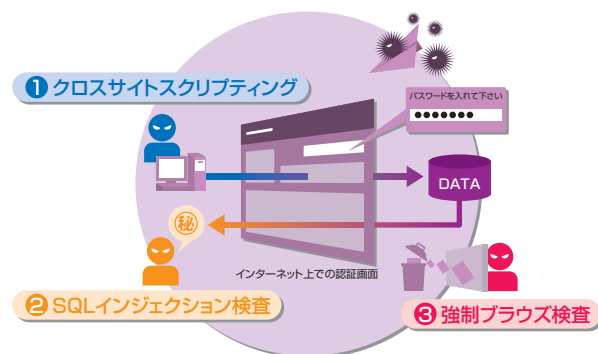


図2 Webコンテンツ検査

NTT-MEのセキュリティソリューションの今後の展開

NTT-ME ソリューションエンジニアリング事業部 セキュリティソリューション部門 担当課長 小山正広氏は、セキュリティソリューションの今後の展開について次のように語っている。「セキュリティ診断は、健康診断と同様に継続的に実施することが重要です。実際に検査の都度セキュリティホールが発見されるケースが多く、その対策を実施することで、セキュリティ強化がなされていきます。セキュリティ診断を総合的なセキュリティ対策のひとつとして利用いただければと思います。

また、日々増える脅威に対しても、弊社のセキュリティチームが蓄積しているノウハウを商品やサービスに生かし、お客様にとって最も有効なセキュリティ対策を提供するよう取り組んでおります。情報セキュリティ対策は、弊社へお任せください。」

お問い合わせ先

NTT-ME ソリューションエンジニアリング事業部 セキュリティソリューション部門
TEL:03-6811-0840
URL:<http://www.ntt-me.co.jp/security/>